

激動の2013年決戦へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年12月17日
No.74

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

福島 IAEA 会議に

怒りの声!!!



12月15日-会場のビッグパレットふくしま前にて

◆福島大生からの現地闘争報告◆

12月14日、15日に行われた「福島閣僚会議」抗議アクションに参加しました。これは、日本政府と国際原子力機関(IAEA)が郡山市で「原子力安全に関する福島閣僚会議」を開くことに抗議し、「私たちを抜きに福島のことを決めるな!」と福島県やIAEAに訴えるための行動でした。

14日は、福島県庁への抗議文の申し入れとデモ行進、駅前での抗議集会が行われました。県庁前では、

IAEAを誘致した佐藤雄平知事への怒りとともに、IAEAへも「私たちの健康や命を守りにやってくる機関ではない」と怒りの声。「原発いらない福島の女たち」の多くの方がスピーチしました。「IAEAは、核管理の名の下に核と原発を推進するための国際機関であり、収束さえしていない原発事故に今なお苦しみ続ける福島にそのような組織が進出することは、どのような理由であれ、私たちは認めることができません」と要請書を読み上げました。その後は市内を



ヨーロッパからも欧州議会議員などが参加(15日)



地元・福島の女性から怒りのアピール(15日)

ビッグパレットに向かう抗議行動に東北大生も合流



「私たちを抜きに福島のことを決めるな」の文字が



デモ。デモ解散地点の駅前でも怒りアピールが続きました。「フクシマの怒り」を強く感じました。

15日は郡山市で IAEA への要請書の提出と抗議集会が行われました。会場の

「ビッグパレットふくしま」周辺はものものしい警備で、要請書の提出は会議会場の外、また、抗議集会も会場から離れた場所で行わざるを得ませんでした。福島県民の声を聞かない態度がありありです。地元紙『福島民友』では、「IAEAの天野之弥事務局長は、経済発展する新興国にとっては今後も原子力が必要と訴えた。続いて壇上に立った各国代表からも同様の発言が相次ぎ、会議は推進一色となった」。福島で放射能安全と原発推進を宣言する——こ

東京・日比谷公園からの反原発デモ(15日)



れが今回の会議の目的です。福島の声을聞かずに福島のことを決めることが許されているのでしょうか！

まだ収束していない福島第一原発事故を終わったものとして「原発は安全だ」と全国、そして世界に発信していく。それが IAEA と政府の狙いです。福島県民を抜きに福島のことを決めることを許さず、これからも福島県から原発反対の声をあげ続けていきたいと思ひます。(H)

山本太郎さん選挙支援に地元-杉並(東京8区)から 法大文化連盟-武田雄飛丸君が決起!



高円寺駅頭での山本太郎さんの大街頭宣伝(15日)

